

反映状況票

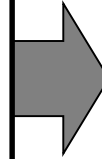
(単位:百万円)

府省名	調査事案名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
文部科学省	(12) 研究施設の運営の効率化	本省	—	54,838 の内数	55,542 の内数	704 の内数	—
事案の概要	<p>世界を先導する学術研究・産業利用成果の創出等を通じて、研究力強化や生産性向上に貢献するとともに、国際競争力の強化につなげるため、世界に誇る最先端の大型研究施設の整備・共用を進めている。一方で、これらの大型研究施設の運営費は施設の高度化などに伴い増加傾向にあることから、運営費の内容を精査し、施設運営の課題を改善することが必要となる。</p>						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

大型研究施設の運営費について

- 電力の契約に当たり、契約額が一定の規模を超えない場合には、運営機関を越えた複数施設による共同調達を積極的に検討すべき。
 契約規模が過大となり共同調達が有利とならない場合についても、法人の会計規程を踏まえ、複数年契約を含めた様々な効率的な契約手法を検討すべきではないか。
- また、保守サービスの契約に当たっても、大幅な費用削減例があることも踏まえ、運営機関を越えた複数施設による共同調達を検討すべき。



反映の内容等

大型研究施設の運営費について

- 「富岳」、SPring-8、SACLAといった大型研究施設等の電力契約については、当該施設を有する法人において、令和3年度末まで、共同調達の可能性や有効性、複数年度契約におけるコストメリットなどについて、外部専門家による調査を実施している。
当該調査結果を踏まえながら、大型研究施設等における共同調達等の検討に積極的に取り組んでいく。
- これまでに共同調達や複数年契約の実績がない施設をはじめ、既に実績を有する施設に対しても、運営機関を越えた複数施設による共同調達を含めた更なる効率的な契約手法の導入につながるよう、各施設が積極的に検討を行うための取組を進めていく。